



戦争と武蔵野X10

～映像資料から見るB-29～

2024.7.27 SAT — 10.31 日

かつて市域に存在していた中島飛行機武蔵製作所は、昭和19年(1944)11月24日から9回にわたり米軍による空襲を受けました。この空襲の中心となった戦略爆撃機B-29について、高高度を飛行する同機を地上から仰ぎ見た、墜落した同機を見に行った、など様々な証言が残っています。当館は新たに同機の製造過程を記録した米軍作成の映像資料を収集いたしました。本展示ではこれをもとに市民の記憶をひもときます。

B-29による空襲から80年を迎えた今年、本展示を通じ戦争の記録と記憶の継承にかかる課題について多くの方々と共有できれば幸いです。





展示構成

①中島飛行機武蔵製作所とは

中島飛行機による航空機用発動機工場の建設と東日本初のB-29爆撃について振り返る

②映像資料から見るB-29

新たに収集した米軍作成映画『Birth of the B-29』を素材にB-29の製造現場を見る

③市民の記憶に残るB-29

市民の記憶にあるB-29と、これに抗う市民の様々な戦争体験について知る

④戦争の記録を掘り起こす

戦争に関する記録の継承と、ふるさと歴史館の役割について考える

関連イベント 無料!!

講演会「市民の目線で調べる地域史 ～戦争で供出の梵鐘調べなど 奥の手を話します～」

戦時下において、寺院の梵鐘をはじめ様々な金属が供出され地域から消えていきました。80年近くを経た現在、これらの史実さえ忘れられようとしています。郷土館・公文書館・図書館・大学など様々な施設に眠るたくさんの資料をもとに、地域の埋もれた歴史を掘り起こすテクニックについて市民の目線からお話いたします。

日時 令和6年9月21日(土) 午後2時～3時30分
講師 古橋 研一氏
 (郷土史家、空襲・戦災を記録する会会員、多摩地域の戦時下資料研究会会員)
定員 40名(定員を超えた場合抽選、市内在住・在学・在勤の方優先)
会場 武蔵野ふるさと歴史館
申込み 右のフォームからお申込みください
 令和6年9月2日(月) 締切



講師近影

申込みフォーム▶



[使用画像] 1. RG342FH Box 429 4A_04601 | 2. RG342FH Box 429 4A_04591 | 3. 『Birth of the B-29』より | 4. RG342FH Box 429 4A_04615 | 5. RG342FH Box 429 4A_04633 | 6. RG342FH Box 429 4A_04619 | 7. RG342FH Box 429 4A_04594 | 背景画像: 18-NM6-7A-3178-8・18-NM6-7A-3173-8_0072 から | 全て米国国立公文書館原蔵資料

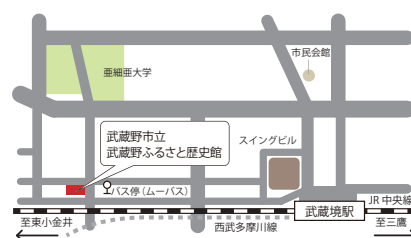
武蔵野市立 武蔵野ふるさと歴史館

開館時間 午前9時30分～午後5時 休館日 金曜・祝日・年末年始 特別休館日

〒180-0022 武蔵野市境 5-15-5 Tel 0422-53-1811

E-mail: rekishikan@city.musashino.lg.jp

武蔵野駅より徒歩12分／ムーバス「武蔵野ふるさと歴史館」バス停下車すぐ／駐車スペースはございません(高齢者・車椅子ご利用の方はご相談ください)



[HP] https://www.city.musashino.lg.jp/heiwa_bunka_sports/furusatorekishikan/
 [Facebook] <https://www.facebook.com/musashino.rekishikan/>
 [X] https://x.com/musashino_reki
 [Instagram] https://www.instagram.com/musashino_reki

●HP



●Facebook



●X



●Instagram

